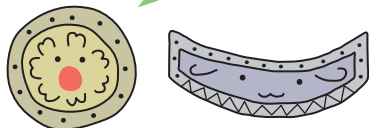


(4) 道鏡、法王になる

766年
(天平神護二年) 10月

道鏡さんは、さらに出世したんやって!?

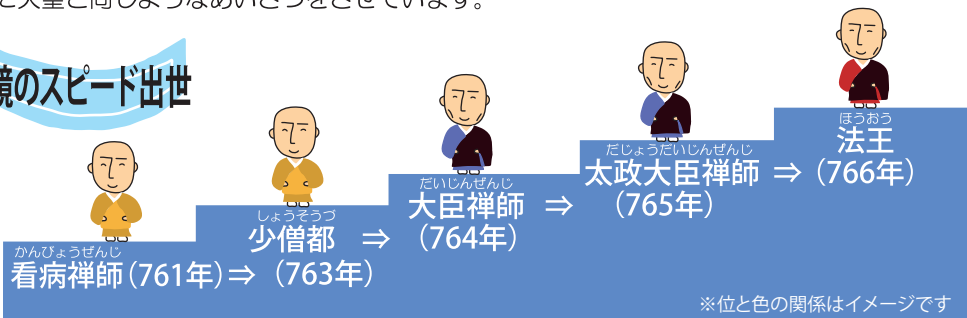


仏教を中心とした政治を進めるため、豊かな仏教の知識を持った道鏡を法王にして、称徳天皇を支えたんだ。



道鏡は、僧侶としての最高の地位といえる法王ほうおうになりました。法王になった人物は後にも先にも道鏡だけです。称徳天皇は、道鏡の立場を広く示すため、弓削行宮や平城宮で役人たちに天皇と同じようなあいさつをさせています。

道鏡のスピード出世

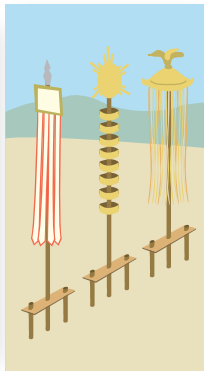


※位と色の関係はイメージです

平城宮の幢旗跡

2014年に行われた平城宮西宮の発掘調査で、儀式の際に立てられた「宝幢」と「四神旗」の柱穴さいくう ほうどう しんき はしらあなが見つかりました。

この柱穴は、765年の称徳天皇の元日の儀式、もしくは769年に道鏡が大臣などからあいさつを受けた時の遺構の可能性がありま



こんな旗を前にして、法王になった道鏡さんが立っていたかもしれないですね!

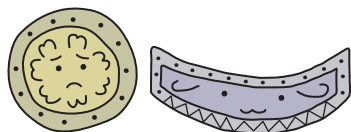


写真提供: 奈良文化財研究所

(5) 宇佐八幡宮神託事件

769年
(神護景雲三年)
5月～10月

「事件」って物騒やな～
どんな内容なん？



道鏡を天皇にすると天下泰平になるという、
宇佐八幡宮の神さまのお告げがあったんだ。
だけど、皇族以外の者を天皇にするという
ビックリな内容だったので、真偽を確かめる
わけのきよまる
ため、和氣清麻呂という人が改めて派遣され
ただけど…



宇佐八幡宮に向かった和氣清麻呂は、道鏡の即位に反対するお告げを持ち帰ります。結局、最初のお告げのとおり道鏡が天皇になることはありませんでした。道鏡が自ら皇位を望んだのか、称徳天皇が道鏡を天皇にしようとしたのか、また誰かがぐわだてたのかなど、いろいろなそがが多く、事件の真相は今も明らかではありません。

宇佐八幡宮と 和氣清麻呂

大分県宇佐市にある宇佐八幡宮は、古くより信仰が厚いことから、そのお告げが重視されました。和氣清麻呂は、この事件の後、
おすみ
大隅国（現在の鹿児島県）に左遷されます。その後、光仁天皇の時代（こうにん）に復帰すると、旧大和川の治水対策を計画するなど、河内とのつながりもありました。

この事件が縁となって、
八尾市と宇佐市、和氣清麻呂
の出身地である岡山県和気町
は、それぞれ国内交流都市と
なっているよ。

事件は大変なこと
だけど…
これがきっかけで
現代では仲良
くなっているのは
すてきやね～

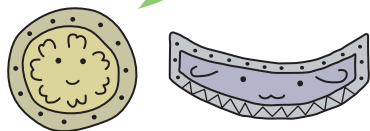


神託事件の舞台となった宇佐八幡宮（大分県宇佐市）

(6) 由義宮が都になる

769年
(神護景雲三年)
10~11月

八尾が「都」に!?くわしく教えて~!



さっきも少し説明した「副都」
ってやつだね。
平城京からみて西の都って
ことで、「西京」にすることが
決められたんだ。



神託事件のあと、称徳天皇の2回目の行幸が行われます。この時は23日間滞在し、これまで^{ゆげのみや}で「弓削宮」としていたものを、縁起が良い漢字である「由義宮」に改められ、また由義宮^{ゆげのみや}を「西京」^{にしきょう}とする詔も出されます。

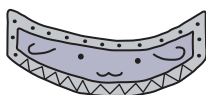
西京は、由義寺のあたりを中心にして、現在の八尾市の南部から柏原市にかけての広い範囲に計画されました。また「河内国」は、都として位置づけるために特別な行政地域として^{かわちしき}「河内職」になりました。

天皇は、^{りゅうげじ}龍華寺近くの川のほとりで「市」を開かせ、その様子を見物しています。西京が都に必要な「宮」・「寺」・「市」を備えていたことを示すためだったのかもしれませんが。

龍華寺跡の石碑

龍華寺の場所はわかってい^{ながせ}ませんが、長瀬川沿いにあったと考えられ、寺があったとされる八尾市立安中小学校の南西角^{やすなか}には石碑が建てられています。

今はひっそりと石碑があるだけですが
当時は、にぎやか
だったのでしょうね~



安中小学校にある石碑